

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第25回）議事概要

開催日及び場所	平成26年1月31日（金） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 清水 幹裕委員（弁護士） 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成25年7月1日～平成25年9月30日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成25年度第2四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	2件	
最低価格方式	1件	
総合評価方式	1件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	8件	
企画競争	6件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	1件	
不落随意契約	1件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成25年度第2四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① レーザープリンターの賃貸借、保守【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が非常に低いが、どのような要因によるものか。 ・機器の賃貸借と消耗品の調達をセットで競争することはできないのか。 <p>② 第68回国民体育大会総合開会式に伴う回転翼航空機借り上げ一式【随意契約（競争性のない随意契約）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用する飛行場の関係で、契約相手方が限定されたとのことだが、本契約での借り上げ料金の妥当性はどのように確認したのか。 また、価格の妥当性を証する資料として、価格表等を添付しておくべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本契約は、プリンターの賃貸借及び保守の契約であるが、このほかにトナー等の消耗品の調達が別途必要となることから、消耗品の売上げを維持するため、機器本体については低価格で入札してきたものと考えている。 ・国庫債務負担行為の活用など、予算措置との関係もあるので、次回更新時に検討することとしたい。 ・他社との比較を行い、料金の妥当性を確認した。なお、料金は国土交通省への届出制となっているとのことであった。 また、本件は少額であったため予定価格調書の作成は省略したが、市場調査の結果等については、整理したうえで保存しておくこととする。

③ 体験活動推進フォーラム（企業 CSR シンポジウム・防災キャンプ全国フォーラム）運営等業務 一式【随意契約（不落・不調随意契約）】（大臣官房会計課）

- ・不落随意契約となっているが、予算額に対して過剰な仕様内容にしたことが原因ではないのか。

④ 平成25年度「生涯学習施策に関する調査研究～アジア諸国等における資格枠組みと職業教育に関する調査研究～」【一般競争（総合評価落札方式）】（生涯学習政策局）

- ・一者応札となった原因は何か。また、解決策はあるのか。
- ・一者応札であるのに、落札率が低くなった理由はなにか。

⑤ 地域キャリア教育支援協議会設置促進事業【随意契約（企画競争方式）】（初等中等教育局）

- ・事業の採択に当たっては、技術審査の結果何点以上から合格するといった基準があるのか。

- ・御指摘のとおり、予算額に比して仕様内容が過剰であったため不落となったものと考えている。今後は、予算の範囲内で適切に仕様策定することとしたい。

- ・説明会には4者来ていたが、供給者が仕様内容を誤認（調査範囲を極端に広く認識）したため参入しなかった可能性もあることから、今後は、仕様内容の更なる明確化を図ることとしたい。

- ・説明会に複数の者が参加していたため、競争相手が存在すると考えて低価格で入札を行った可能性がある。

- ・新規の事業であったこともあり、何点以上が合格といった基準は定めていないが、目的に沿った事業計画であることを確認した上で採択を行っている。なお、次年度以降は、基準を設けることについて検討したい。

- ・本事業は、複数の受託者が採用されているが、他の受託者と比べて本契約のみ契約金額が低いのはなぜか。

⑥ 沿岸海域活断層調査【随意契約（企画競争方式）】（研究開発局）

- ・過去も同じ相手方と契約しているが、他の者との契約も想定できるのか。

- ・各地域によって得意な機関もあるはずなので、ある程度のブロックに分けて契約することも検討できるのではないか。

⑦ 血液採取によるドーピング検査技術研究開発事業【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）

- ・契約相手方が再委託する検査業務を、別の契約として競争させることは可能なのか。

- ・キャリア教育に関する取組については、地域毎に進捗具合に差がある。当契約の地域は、既にキャリア教育に関する組織が立ち上がっており、他の地域のように会議等を新たに立ち上げるコストが必要ないなどの理由により、安価な契約となった。

- ・断層調査は、地質研究所や大学でも実施しているが、対象断層が日本中に散らばるので、代表機関としてこれらを網羅的に把握している契約相手方が対応しやすかったものと考えている。

- ・今後は対応できる大学等も出てくると思うので検討していきたい。

- ・本契約を研究開発と検査に分割すれば、検査業務については、競争できる可能性があるため、今後検討していきたい。

<p>⑧ 平成 25 年度「文化庁映画週間」の企画運営 文化庁映画賞【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札が改善されているが、どのような取組を行ったのか。 ・技術審査の評価結果に大きな差があるが、どのような理由からか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告書をホームページで公開するなど、事業内容の周知を図ることにより新規参入を促した。 ・事業実施計画について、他者と比較して、落札者は詳細な計画まで記載されており、具体的であったことが相対的に評価されたと考えている。
<p>⑨ トレーニングセミナーの実施に係る業務【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札になっているが他に対応できる者はいろのか。 ・技術審査員の評価で、低い評価点を付けているが、こうした委員の意見を具体的にはどのように反映させているのか。 ・技術審査において事業内容に低い点数も見受けられるが、履行能力的に問題ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本契約の対象である著作権と著作隣接権に総合的に対応できる者は限定的であると考えている。 ・例えば、対象国毎にその国の専門的な知見を有した者を派遣することや、著作物の海賊版を防止する上でその国で注意すべきことなどのアドバイスをいただき、これを事業実施に反映させた。 ・技術審査する有識者は、当然この団体の事業の特性や、実績は知っているので、逆に新たな工夫を求めるなどの高い期待を含めて、厳しい点数をつけたと聞いている。

⑩ 権利執行セミナーの実施に係る業務－「日韓著作権フォーラム」の開催－【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）

- ・本契約については、技術審査においてかなり高得点であったが、なぜか。

【総括】

- ・個別に検討等を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。

- ・諸外国の著作権情報等の知見を有し、本セミナーの実施についても具体的案件を提案した上で、明快な説明をしていた点で評価が高かったのだと考えている。